

## 2024年度10月 月例山行「高妻山・飯縄山」山行報告

行程初日の10/12(土)、2台の車に相乗りおよび、1人乗り2台で宿泊先のペンションに15時集合。荷物整理の後近くの温泉へ出向き、夕飯を終えペンションに戻り高妻山の最終打ち合わせ。高妻山登山口駐車場が混むことを予想して10/13(日)4時ペンション発として早めに就寝。

10/13(日)高妻山。早朝4時、予定通りペンションを出発し高妻山登山口駐車場へ向かい、4時半駐車場着。前日の読み通りすでに9割方埋まってきました。日出前の薄明の中、駐車場を出発。弥勒尾根登山口からはひたすら登る、登る、登る。楽しいお喋りやマイナス思考の呟き、所々に現れる心癒される紅葉・・・を繰り返しながら高妻山頂上に無事到着。山頂はガスガスでしたが、沢山の登山者がいらっしやいました。汗冷えを心配しながら軽く山頂で休息と昼食をとった後は、滑る、滑るの下り登山道を声を掛け合い慎重に下山。八丁ダルミを過ぎるとガスもとれ、焼山・火打山、妙高山、黒姫山、飯縄山、戸隠連峰の絶景にテンション上がりっぱなしの楽しい山行となりました。



10/14(月)飯縄山。ペンション5時40分発、6時5分、一の鳥居からアタック開始。前日の長く苦しかった高妻山の緊張から解放されつつも、若干の足の疲れに不安を覚えながらの山行となりましたが、石仏めぐりを楽しみながら山頂到着。山頂からの360°の大パノラマの絶景に、寒いと凄いが止まらない興奮状態になりつつ、ちょっと長めの休憩をとり、10時下山開始。事故もなく無事に2日間の行程を終えました。(記：那須)



※参加者：CL 朝井、SL 那須、稲越、平本(真)、平本(美)、塚越、松尾、田中(利)、小玉、町田

### 【行程概要】

10月13日 高妻山

ペンション 4:00 → 戸隠キャンプ場前駐車場 5:25 → 高妻山登山口 6:00 → 分岐(尾根コースへ) → 分岐(五地蔵山) 8:45 → 11:20 高妻山 11:50 → 分岐(五地蔵山) 13:40 → 15:50 登山口(下山)

10月14日 飯縄山

ペンション 5:40 → 一の鳥居苑地駐車場 6:05 → 駒つなぎの場 7:40 → 9:20 飯縄山 10:00 → 駒つなぎの場 11:05 → 12:10 一の鳥居苑地駐車場(下山)

## 【参加者の感想】

■秋晴れの快晴のなか、気持ちよく高妻山山行に参加できました。前泊のペンションも美味しいハーブティや果実酒のサービスもあり快適に過ごすことができました。近くの温泉施設の食事も美味しく、こういう山行もよいなと思いました。初めての高妻山は、アップダウン、心臓破りな急登の連続で試練の山でした。しかし、稜線から見る飯縄山、黒姫山、火打山、妙高山、北アルプスの山々の絶景は圧巻でした。残念ながら高妻山山頂はガスで覆われ眺望は望めませんでしたが、紅葉も観られ楽しい山行でした。(町田)

■高妻山は、地味できつい山との印象が強く、内心、不安もありましたが、皆さんとの楽しい会話につられて登頂することができました。流石に最後の急登は、きつくてひたすら石を掴むことに集中！でした。それに比べ飯縄山、優しい歩きやすい山で、頂上からの360度の景色、感激して言葉を失うほどでした。登った山々が見えるって嬉しいものですね。素晴らしい山行でした。(塚越)

■1日目の高妻山は以前から気になっていましたが、距離が長く急登であることなどで個人の山行では不安がありためらっていた山です。募集がありこの機会を逃すまいと直ぐ様申し込みました。比較的新しく整備された弥勒尾根のピストンでしたが、流石に上級コースで、急坂といくつかの上り返しで体力が削られた後の、九勢至からの激急坂には参りましたが、その分達成感はとても大きく、また妙高戸隠連山を眺めながらの下山は最高でした。2日目の飯縄山では、頂上での富士山を始め日本アルプス等360度の大展望に参加者皆、大はしゃぎでした。計画・準備いただいた朝井CL、那須SL、参加者の皆様ありがとうございました。(田中)

■山行レベルの高い高妻山登山を無事終えて、大変嬉しく思います。天気は少し霧がかっていましたが、厳しい傾斜を一步ずつ登り頂上にたどりついた時の感動は「やったなあ」と年甲斐もなく自己満悦していたようです。二日目の飯綱山は仏の道を学ぶ行程で、戸隠の神社と合わせ人間の幸せ(極楽)を希求する大衆の欲求がよく理解できます。(松尾)

■久しぶりの高妻山、飯縄山への山行でしたが、登山コースの記憶が薄く新鮮な山行をすることが出来ました。特に高妻山では濡れた石と木の根に苦戦しましたが、頂上ではその苦しみが妙高山、火打山を眺めて笑顔へと変わりました。翌日の飯縄山では頂上で晴天に恵まれ、360度の大パノラマが広がり感動の景色を味わうことが出来、先週の常念岳に続き最高の山行でした。(平本真二郎)

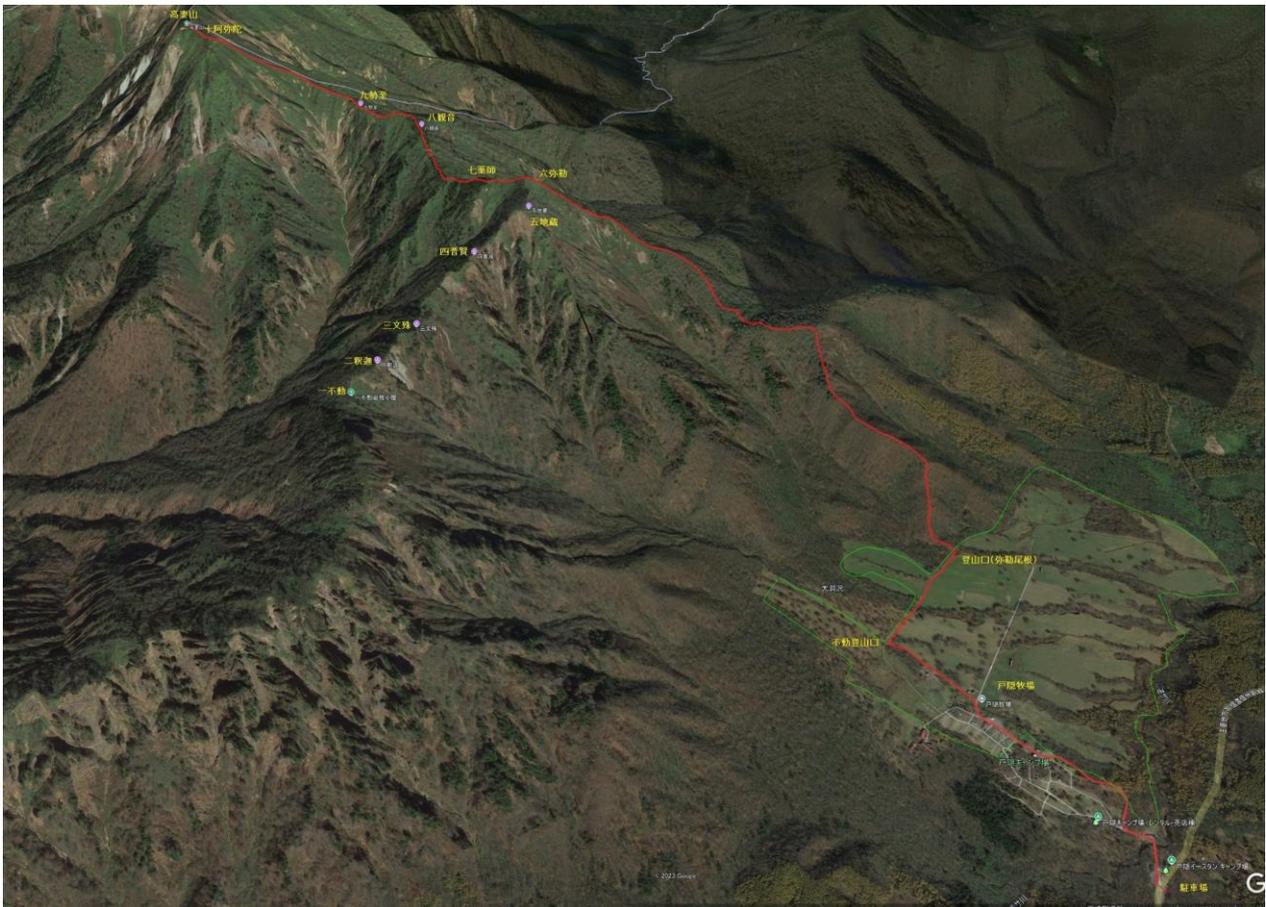
■7年ぶり2度目の高妻山でした。前回は雪が降りそうなどんより曇りで、景色は全く見えませんでした。スキッと快晴を期待して登りましたが…山頂付近は新潟側から雲が湧き、ちょっと残念な思いを残しつつ下山しました。が、途中からは周りの山々がくっきりと見える快晴となり明日登る飯縄山の稜線が見え素晴らしい景色の中、一緒に行った皆さんと歓喜の声を上げながら楽しく下山しました。アップダウンや急登、泥でズルズルの下り坂、高妻山は大変な山というのを実感しながらの下山でした。翌日の飯縄山は疲労の残った足で登れるか心配でしたが、360°パノラマの山頂で北アルプスから日本海までゆっくり景色を眺められて感動でした。この山行に参加できた事に感謝です。ありがとうございました。(平本美恵子)

■自分の故郷である長野市に近い戸隠界限はとても身近な場所です。戸隠山、高妻山、飯縄山は登っているのですが、今回は体力低下を心配しつつ、登山仲間との登りを楽しみに参加しました。前泊は近くに温泉(食事処)ありのペンションという贅沢さ。いつもの車中泊とは大違いのゆったりとしたス

タートでした。素敵な企画を立てて頂いた朝井 CL には感謝です。高妻山は期待どおりの急登の連続で体力を使いましたが、疲労を残さない様ペース配分には特に気を遣いました。頂上からの眺望は、過去の山行同様、霧が掛かるコンディションでしたが、八丁ダルミまで下ると霧も晴れて、頸城山塊、北信五岳、戸隠連峰全景を見る事ができ感動！紅葉も綺麗に色付いていました。翌日の飯縄山登山は朝から晴れ渡り、「飯縄大権現」信仰の山らしく「十三仏」の石仏を辿りながら、山頂に到着。富士山、八ヶ岳、北アルプス等、また日本海まで見渡せる眺望を、参加者の皆さんとで楽しみ、最高の山行でした。(稲越)

■高妻山は、支部山行で後立山などに行った時に、諸先輩に指さして教わった山の一つで、ずっと気になり、今回企画させて頂きました。下見時は沢ルートも行ったのですが、支部山行としては安全をみて尾根ルート往復を選択。登り甲斐のある山で、ぜひ沢ルートも一緒に体験したかったです。翌日の飯縄山では、前日にガスで見られなかった後立山の他、富士山や八ヶ岳などパノラマで一望でき、心震えました！石仏を見ながらの参加者との会話が最高に楽しく、素敵な山でした。又、宿泊ペンションや日帰り温泉も良い所が見つかりほっとしました。(CL 朝井)

■天気にもめぐまれ、高妻山満喫出来ました。節目の百名山 50 座目を達成できて大満足です。それにしてもきつかったですが、皆さんと一緒に登ったのでおかげで折れずに登頂できました。きめ細かい山行計画、実行頂いた朝井 CL・那須 SL・稲越相談役、本当にありがとうございました。今後とも皆さんと楽しい山行を続けて行きたいと思います。(小玉和孝)



高妻山 Map (©Google Earth)